

**岐阜県立本巣松陽高等学校創立百周年記念事業実行委員会
第7回 委員長会 会議録**

岐阜県立本巣松陽高等学校
創立百周年記念事業実行委員会

日 時 令和3年5月15日(土) 午後1時30分～2時45分

場 所 岐阜県立本巣松陽高等学校 银杏館 1階 大会議室

構成員 12名
組織図参照
事務局 7名(兼務3人を含む)
組織図参照

出席者 12名(事務局を除く)

実行委員長	川瀬 善忠			
実行副委員長	本田 修也	中島 洋晃	吉村 知浩	池田 哲也
総務委員会	遠山 信義			
広報委員会	河野 秀明			
事業委員会	小川 裕幸			
式典委員会	藤木 節子			
記念誌委員会	西尾 侑一			
名簿発行委員会	天野 知子			
財務委員会	汲田 雅司			

事務局 1名(兼務を除く)
事務局 柏木 典子 西尾 侑一(兼務)
委員長が必要と認める者 3名
実行委員 川瀬 英樹 有尾 隆宏 高橋 正人

1 実行委員長挨拶 (川瀬実行委員長)

資料は1枚。冊子1頁。レジュメの通り。転入管理職の紹介の際、校長と教頭から挨拶があった。「2 委員長会の開催」において、コロナ情勢の悪化で実行委員会を開催できない状況を踏まえ、「委員長会決議は実行委員会決議とする」旨が再確認された。

2 実行副委員長挨拶 (吉村副委員長)

未着であったため、到着後に変更。

3 実行副委員長挨拶 (池田副委員長)

資料はなし。着任挨拶として、岐阜北高等学校教頭から転入してきたことと、娘が卒業して入れ替わりの着任であることが話された。また、新校舎建設に伴う工事については後程説明することと、コロナ情勢が悪化する中での学校運営について話した。

4 議事

(1) 総務委員会 (遠山委員長)

資料は5枚。冊子2～6頁。5月8日に行った総務委員会と式典委員会の会議の報告がされた。まず、レジュメ2頁の上方にある「日時」について、「7日」を「8日」と訂正した。

祝賀会については、3頁下方にあるとおり、コロナ情勢を踏まえて中止としたいと提案があった。また、会場のキャンセル料について、実施予定日60日前までは10%だが、それ以降は20%になること、昨年は10%を半額にしてもらい5%を支払ったこと、今年は10%かかる予定であることが説明された。

式典については、2頁下方から3頁上方にある通り、感謝状贈呈者の各区分代表者1名に出席していただき、生徒は各クラス2名の代表に出席してもらう案が出た。これについては、感謝状贈呈

者はぜひ招待したいことと、役割の当たっていない生徒は感染リスクを減らす観点から教室でオンライン参加としたいという意見が出た。また、式典当日の写真は、学校側で記録係を当てて確実に記録してほしいという意見も出た。なお、式典の詳細については、今後、総務委員会と式典委員会が学校側と連携しながら、コロナ情勢を含む学校運営の状態を考慮しながら検討していきたいことと、そのために月1回程度で両委員会の会議を持ちたいことが話された。

4～5頁は、昨年職員会議に出された当日の日程表や業務分担内容である。これについては、今後詳細を決めていく。6頁上方に、招待者区分とそれらの人数が記されている。多少の人数変更があるが、ここから200人以内へ、さらにはそれ以下に人物を選定していきたい。

6頁下方は、特別記念品について、電気ケトルを贈呈する提案がなされた。単価は約8,000円で、「本巢松陽高等学校創立百周年」というシールを貼りたい。名入れの費用と正確な費用は未定である。

提案及び報告事項は、最終的に異議なく承認された。

(2) 式典委員会 (藤木委員長)

資料は1枚。冊子7頁。式典に向けての流れであるが、変更が生じている。今後、総務委員会と学校と連携しながら進めていきたい。なお、今後毎月1回程度の頻度で式典に関する会議を実施することに加え、8月頃には学校側の担当者の先生たちと顔合わせを兼ねた打ち合わせを持ちたい。

提案及び報告事項は、最終的に異議なく承認された。

(3) 広報委員会 (河野秀明委員長)

資料は1枚。冊子8頁。10月16日掲載予定の岐阜新聞協賛広告第2弾について、詳細が説明された。また、硬式野球部の招待試合のポスター費補助について、まず見積書を出してもらった上で前向きに検討することとなった。

提案及び報告事項に、最終的に異議はなかった。

(4) 事業委員会 (小川裕幸委員長)

資料はなし。正門周辺整備事業が完了したので、何かすべきことがあれば協力していきたい。

(5) 記念誌委員会 (西尾委員長)

資料はなし。近いうちに原稿依頼をする。

(6) 名簿発行委員会 (天野委員長)

特になし。

(7) 財務委員会 (汲田委員長)

資料は4枚。冊子9～12頁。まず令和2年度決算と、平成29年度から令和2年度までの決算について。

12頁の令和3年度予算については、資料の網掛け部分について説明。PTA協力金や同窓会協力を収入として繰り入れることになったため、記念式典費の会場費および記念品費と、記念事業費の記念誌出版費と、予備費を変更した。

5 創立百周年記念に関わる行事について (西尾事務局員)

資料は1枚。冊子13頁。記念式典は形態を変更して行う。なお、その詳細については、総務委員会と式典委員会と連携を取りながら、コロナ情勢を含む学校運営の状態を踏まえて学校側で検討していきたいと話した。祝賀会は中止と決まった。その他の行事については、実施の方向で進める。ただし、コロナ情勢の悪化によっては変更の可能性もある。

6 その他

高橋実行委員からは、校舎新築工事に関わる説明と、同窓生への周知と理解の徹底について依頼があった。吉村実行副委員長からは、本年度PTA会長に就任したことの挨拶があった。その他、中島実行副委員長と本田副委員長からも一言挨拶があった。

以上

令和3年5月17日
事務局 西尾 侑一